津市

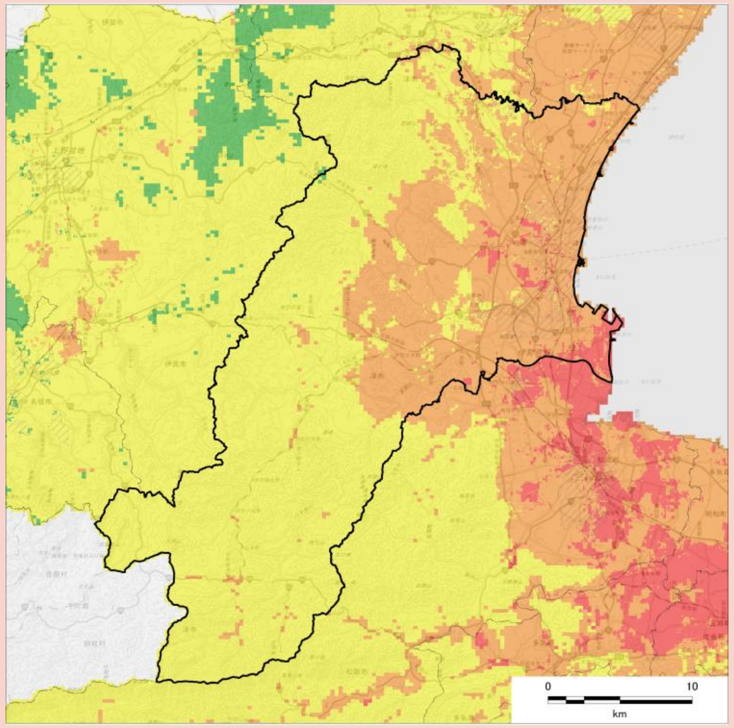
三重県南海トラフ地震被害想定　市町別被害想定結果シート

資料４

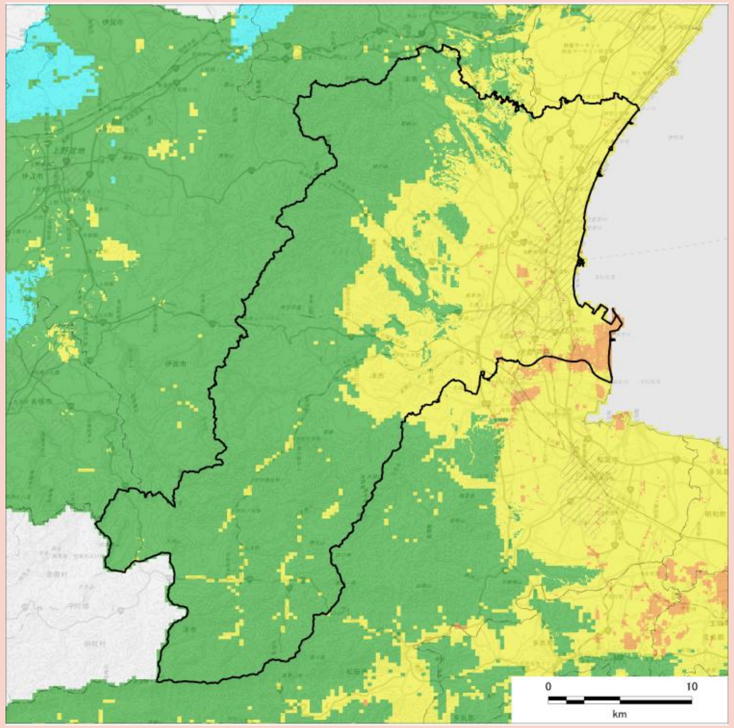
１．ハザード評価

（１）地震動

【L2】理論上最大クラス



【L1】過去最大クラス



震度階級
- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強
- 震度5弱
- 震度4
- 震度3以下

＜震度別面積割合＞

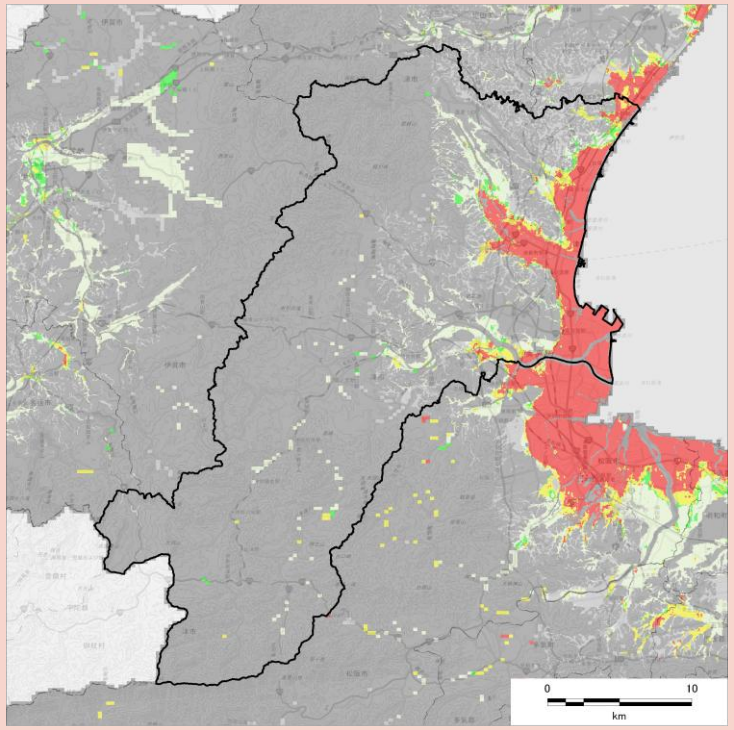
（参考）総面積＝711.2㎢

	【L２】理論上最大クラス		【L１】過去最大クラス	
	面積（㎢）	割合	面積（㎢）	割合
7	14.7	2%	0.0	0%
６強	248.6	35%	9.6	1%
６弱	447.6	63%	259.1	36%
５強	0.3	0%	442.4	62%
５弱	0.0	0%	0.0	0%

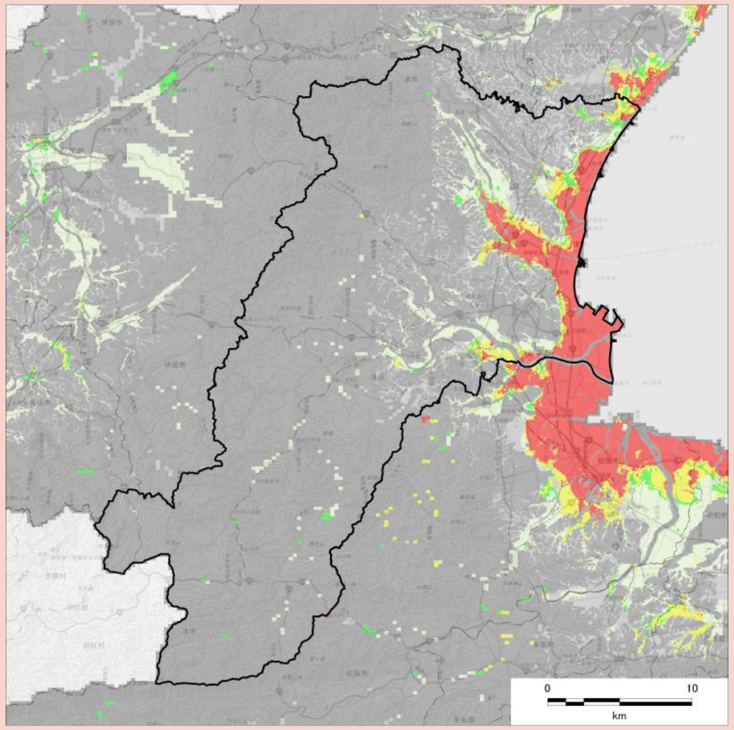
※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

（２）液状化

【L2】理論上最大クラス



【L1】過去最大クラス



液状化危険度
- 極めて高い
- 高い
- 低い
- 極めて低い
- 計算対象層なし
- 計算対象外

＜液状化危険度別面積割合＞

（参考）総面積＝ 711.2㎢

	【L２】理論上最大クラス		【L１】過去最大クラス	
	面積（㎢）	割合	面積（㎢）	割合
極めて高い	42.9	6%	36.4	5%
高い	11.3	2%	13.6	2%
低い	4.4	1%未満	5.2	1%未満
極めて低い	32.1	5%	35.6	5%
計算対象層なし 計算対象外	620.5	87%	620.5	87%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

津市

三重県南海トラフ地震被害想定　市町別被害想定結果シート

資料４

１．ハザード評価

（３）沿岸最大津波高

L2	L1
5m	4m

（４）沿岸津波到達時間

L2	L1
56分	62分

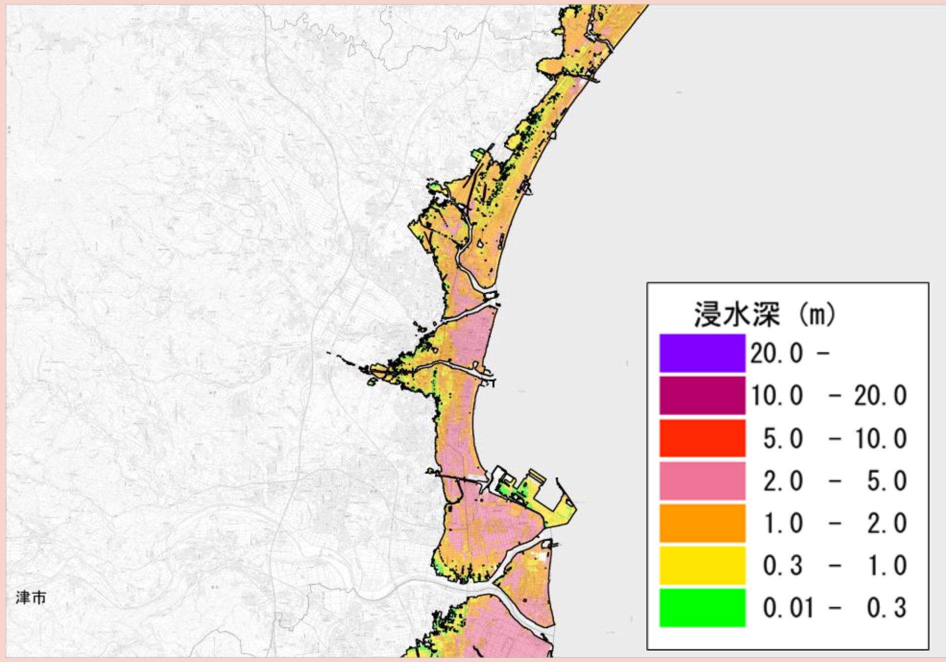
※沿岸で１ｍの水位変動が発生するまでの最短の時間

（５）津波浸水面積

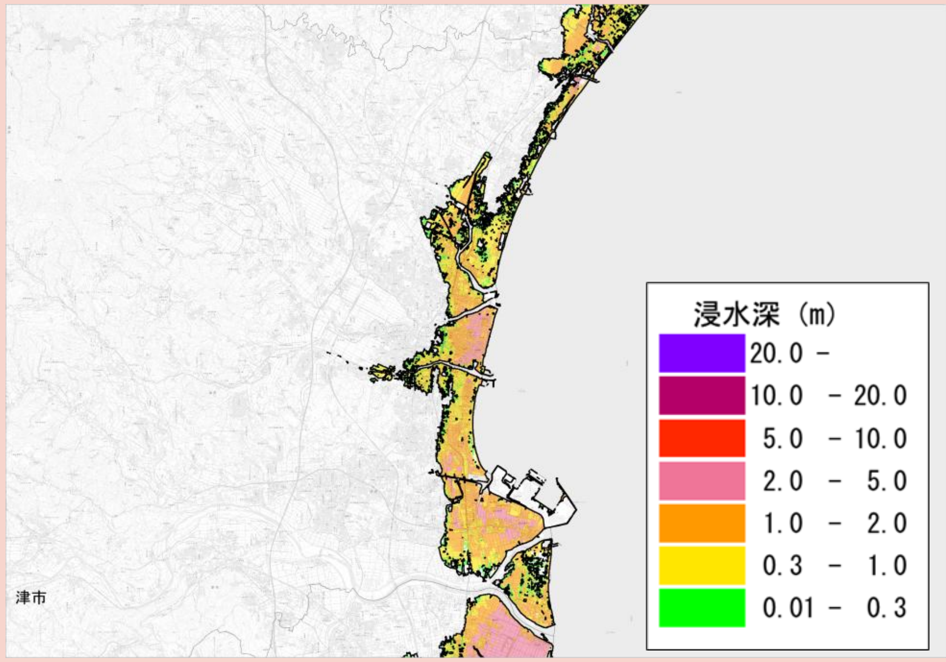
L2	L1
3,564ha	2,571ha

（６）津波浸水深

【L2】理論上最大クラス



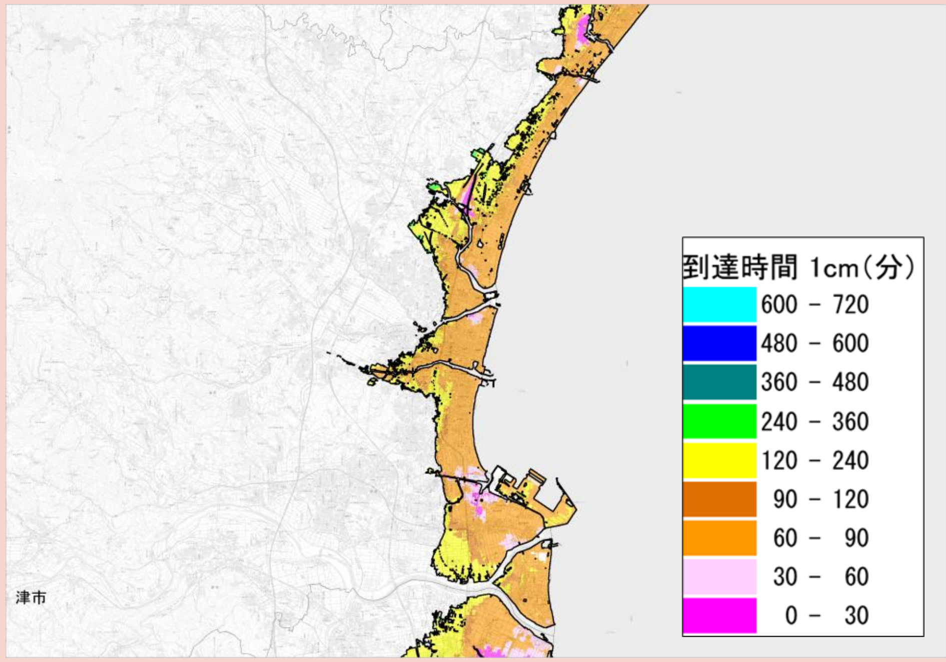
【L1】過去最大クラス



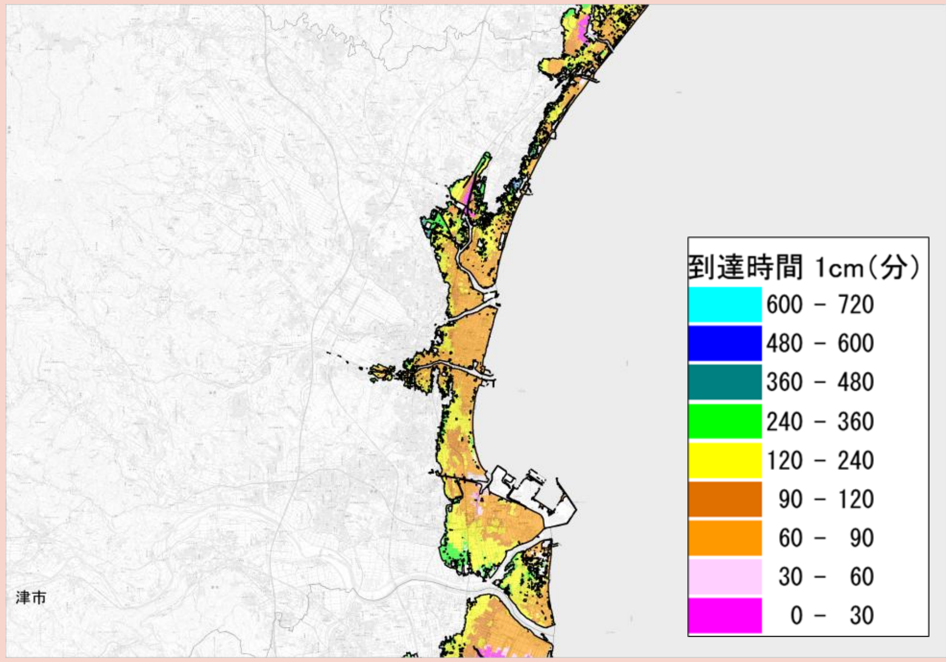
（７）津波浸水深到達時間

※陸上で１cmの浸水が発生するまでの時間

【L2】理論上最大クラス



【L1】過去最大クラス



津市

三重県南海トラフ地震被害想定　市町別被害想定結果シート

資料４

２．リスク評価

（１）人的被害

※L2の死者数は津波ケース①の推計結果

※季節・時間帯：冬・深夜

※津波からの早期避難者比率が低い場合

定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約5,000	約1,500
うち建物倒壊等	約1,100	約80
うち津波	約3,800	約1,400
うち急傾斜地崩壊等	約20	約10
うち火災	約50	-
うちブロック塀・自動販売機転倒および屋外落下物	-	-
重傷者数（人）	約2,100	約200
軽傷者数（人）	約6,200	約1,700
建物倒壊等による自力脱出困難者数（人）	約3,900	約400
津波被害による要救助者数（人）	約1,500	約800
津波被害による要捜索数（人）	約4,200	約1,500

（２）建物被害

※L2の全壊・焼失棟数は津波ケース②の推計結果

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数（棟）	約31,000	約4,400
うち揺れ	約19,000	約1,800
うち液状化	約800	約800
うち津波	約5,700	約1,700
うち急傾斜地	約200	約90
うち火災	約5,400	約20
半壊棟数（棟）	約36,000	約25,000
うち揺れ	約23,000	約9,200
うち液状化	約1,900	約3,200
うち津波	約11,000	約13,000
うち急傾斜地	約400	約200
ブロック塀等の転倒数（件）	約3,800	約1,000
自動販売機の転倒数（件）	約100	約60
屋外落下物の発生数（件）	約3,300	約40

（３）火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数（件）	約50	約10
残火災件数（件）	約40	-
津波火災発生件数（件）	約10	約10

概観（理論上最大クラス）

【ハザード評価】

広い範囲で震度６強以上（一部震度７）となり、平野部を中心に液状化が発生します。また、地震からおおむね90分後以降に広く津波の浸水が生じます。

【リスク評価】

理論上最大クラスでは、死者の約8割が津波で亡くなり、また揺れで建物が全壊し、建物倒壊等による死者や自力脱出困難者が発生します。津波による全壊や火災による焼失も発生します。

※「－」：わずか（５未満）

※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。